

# 特区で働こう! 久辺テクノフェスタ 2011

～金融・IT国際みらい都市に向けて～



金融・情報特区の企業と雇用 平成23年9月末現在	
企業数	30社
雇用者数	966名



今回の「特区で働こう」は、今年23日(勤労感謝の日)に開催予定の『久辺テクノフェスタ2011』をご紹介します。  
久辺テクノフェスタは、今回で3回目となり、名護市久辺地区に集積する産官学と地域との交流を図っています。今年も地元である辺野古商工会と企業2社(㈱ティーダワークス、㈱PUREWORKS)が初参加と、年々参加団体が増え盛り上がりを見せているイベントです。

## 開催の背景には

名護市が金融・情報特区の指定を受けてから、今年で10年目という節目を迎えます。金融・情報産業の集積地として市内には、現在31社の企業が立地しています。その中でも中核拠点地区である名護市久辺地区においては、名護市マルチメディア館、国際海洋環境情報センター、みらい1・2・3号館、といった企業の集積基盤となる施設や高等教育機関である国立沖縄工業高等専門学校、人材育成機関である沖縄北部雇用能力開発総合センターが整備されてきました。近年では、隣村である宜野座村のサーパーフームとCEATEC JAPANへの共同出展や人材育成の連携など、共同して北部地域の活性化を推進しています。

## テクノフェスタ開催の目的

地域の人々に金融・情報通信関連企業に向けた施設が豊原地区にあり、多くの企業や研究機関が地域に立地していることを知ってもらい、興味を持ってもらうこと、久辺地区に集う産官学と地域の連携を深めることが目的となっています。

## イベントへの意気込み

『久辺テクノフェスタ2011』を多くの市民へ参加を呼び掛けるにあたり、初出展となる株式会社ティーダワークス(名護市マルチメディア館内)の金城将吾さんにイベントへの意気込みを伺いました。  
(金城さん)「㈱ティーダワークスは、モバイルコンテンツ事業(マンガをケータイ電話で閲覧するための加工・編集や、ケータイゲーム関連の制作)と3Dコンテンツ事業(平面画像を立体画像に変換する加工・編集や、3Dレンヂキュラー(※補)制作・販売)を行っている会社です。今回のイベントでは、

ケータイマンガの展示や体験をはじめ、3D映像試写会やその仕組みと魅力を紹介するための説明もを行います。また、縦横1mの3Dパネルなども展示して、テクノフェスタでしか見られない3D作品を多数用意しています。大人から子どもまでご家族みんなが楽しめるようなイベントを目指して取り組んでいますので、ぜひ多くの方々に来場いただき、楽しみながら弊社の理解を深めてもらえたら嬉しいですね」と話してくれました。



株式会社ティーダワークス 3Dコンテンツ制作チームリーダー兼プロデューサー 金城将吾さん  
「普段なかなか見られない作品を披露予定。多くの市民の方に作品を見てほしい」と話す金城さん。

また、実行委員会においてもイベントウェブサイトを立ち上げ、多くの方々を知っていただくために、事前にイベントを周知する活動も積極的に行っています。

同イベントは、午前9時45分から名護市マルチメディア館にてオープニングセレモニーも行われます。今年も、名護桜太鼓のみなさんも参加し、華やかな幕開けを予定しています。ぜひ、知人やご近所の皆様お誘いあわせのうえ、ご来場ください。多くの皆様のご来場をお待ちしています。  
※イベント詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

〔補〕レンヂキュラーとは・・・目の錯覚を利用して、画像に奥行や動きの効果を与えることが出来るレンズのこと。

## 久辺テクノフェスタ 2011

【開催日時】 2011年11月23日  
(勤労感謝の日)  
午前10時～午後5時  
オープニングセレモニー9:45～

### 【開催場所】

- ◆国際海洋環境情報センター
  - ◆沖縄北部雇用能力開発総合センター
  - ◆名護市マルチメディア館
  - ◆みらい1・2・3号館
  - ◆豊原地区会館
  - ◆宜野座ITオペレーションパーク
- ホームページ  
<http://nda.city.nago.okinawa.jp/kube/>

ご意見・ご感想をお寄せください。

金融・情報特区推進室 / 特定非営利活動法人 NDA

【お問合せ先】

電話：55-3333 / FAX：55-3332

mail: info-nda@nda.city.nago.okinawa.jp



CEATEC JAPAN2011で名護市のビジネス環境を紹介しました。

最先端IT・エレクトロニクス展  
『CEATEC JAPAN 2011』  
において金融・情報特区をアピール  
千葉県の幕張メッセで、10月4日(8日(5日間)に開催されたアジア最大級のIT・エレクトロニクス総合展「シーテック ジャパン 2011」において、情報特区である名護市と宜野座村が共同で出展し、アジア圏の中心地としての地理的優位性や沖縄県北部の名護市・宜野座村の企業集積による産業振興や街づくりの取り組みをPRしてきました。自然豊かなやんばるでの優れたビジネス・生活環境を、DVD・パネル・パンフレットで紹介し、企業誘致を行ってきました。連日、多くの来場者が詰めかけ、合同ブースには約2000名の方々が足を運んでくださいました。